

文学博

革命前

本書は、第二次世界

たって、中国社会を自

最初に「プロローグ

から調査研究の方法を

編）張家口を取扱って

として、（第一編）豊

編）察素齊・（第三編）

鄧及び城牆・（第四編）

フオーマントに面接し

この報告書を作成して

は、地区別に大小各種

君の調査は、各地の廟

場やギルドの

資料を集める

中国人が移住

都市へと発展

第六部は「

方の都市・農

第一編「農

であった「地

彼等を守った

九五）以後に

有するように

もので、後に

していたこと

た灌漑施設と

第二編では

めて、これを

商 城 で を 他 衡 ソ 業 る 済 資 た の 制

南海子の発展したことなどが説明されている。

本書は現地調査の報告書であると同時に、清朝時代からの沿革をたどることに力が用いられており、組織と機能の解明に重点が置かれている。副題には「その歴史」とみえているが、著者が取扱ったのは乾隆時代以後である。著者の使用した用語や本書の題名については異論があり、著者自身が述べている調査で尽されていない問題が残っているけれども、本書には著者が政治情勢の甚だ不安定な時期に一人で遂行した現地調査の成果が、その後の文献調査と相まって、よくまとめられている。中華人民共産党を通じて、全面的に変化する直前の伝統的な中国社会の実状を、歴史的な背景と共に解明した業績とする。